

第1期 福井市まち・ひと・しごと創生総合戦略(H27～R1)の進捗状況

(1) 数値目標の達成状況 (30年度末)

【基本目標1】福井の産業の強みを活かし、働く場を創出する

(数値目標) 5年間で1,000人の新たな就業の場を創出

(現 状) 30年度末の新規就業者数は934人

(K P I) 30年度目標水準*到達 8/13項目 (達成率62%)

※参照：福井市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略に係る
平成30年度末時点でのK P Iの進捗状況

- (成果等)
- ・商工業分野では、起業家支援メニューや企業立地支援により、働く場の創出につながっている。
 - ・事業承継では、27年度から県等と連携した相談窓口を開設して周知を図るなど、関係機関と連携した支援を進めている。



「テキスタイルマテリアル グローアッププロジェクト」
繊維産業の農業分野等での技術応用・新製品開発や、衣料分野での販路拡大・事業承継を支援

- ・農業分野では、地方創生推進交付金を活用して三里浜砂丘地の園芸農業再生を展開し、推奨品目の生産拡大につながるなど順調に推移している。(31年度からは後継事業が3年間の国交付金採択済)
- ・新規就業者の確保については、農業では進捗に遅れが見られるが、林業及び漁業では29年度末で最終年度の目標水準に達している。



「未来へつなぐ 福井の農業・水産業活性化プロジェクト」

園芸農業経営基盤の強化や農業従事者の確保、都市部をはじめ市内外での市特産品の販路開拓などを一体的に展開

<参考1> 就業者数の状況 (本市調査)

5年間累計目標	30年度末累計
企業立地 300人	303人
就業促進 600人	572人
農林水産業 100人	59人
合計 1,000人	<u>934人</u>

<参考2> K P I の進捗状況 (基本目標1)

番号	KPI(重要業績評価指標)	H26	H27	H28	H29	H30	⇒ H31	(単位)	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1	ものづくり支援、設備投資、人材育成、新市場開拓、販路開拓に係る中小企業への支援件数(5年間累計)	0	57	110	172	210	⇒ 375	件	[Progress bar: 210/375]					
2	新事業の創出件数(5年間累計)	0	2	3	5	6	⇒ 6	件	[Progress bar: 6/6]					
3	企業立地数(5年間累計)	0	6	13	20	37	⇒ 17	件	[Progress bar: 37/17]					
4	創業者数(5年間累計)	0	99	191	267	358	⇒ 400	件	[Progress bar: 358/400]					
5	事業承継相談者数(5年間累計)	0	0	5	10	16	⇒ 25	件	[Progress bar: 16/25]					
6	農業法人への就農者数(5年間累計)	0	4	9	11	18	⇒ 30	人	[Progress bar: 18/30]					
7	三里浜砂丘地における新規就農者数(5年間累計)	0	2	2	3	6	⇒ 5	人	[Progress bar: 6/5]					
8	新規就農者数(就農給付金事業活用人数)(5年間累計)	0	3	5	9	13	⇒ 25	人	[Progress bar: 13/25]					
9	森林組合の新規就業者数(5年間累計)	0	7	12	20	23	⇒ 10	人	[Progress bar: 23/10]					
10	漁業新規就業者数(5年間累計)	0	1	1	5	6	⇒ 5	人	[Progress bar: 6/5]					
11	新たに6次産業化に取り組む経営体数(5年間累計)	0	5	10	13	17	⇒ 20	経営体	[Progress bar: 17/20]					
12	生産推奨品目作付面積	89	97	117	134	137.2	⇒ 130	ha	[Progress bar: 137.2/130]					
13	農産物直売所の売上高	16	16	16	17.2	18.6	⇒ 21	億円	[Progress bar: 18.6/21]					

※バーは H30 実績値/R1 目標値

【基本目標2】 福井の魅力を活かし、新しいひとの流れをつくる

(数値目標) 転入・転出者数を均衡 (H26 ▲212人 → H31 ±0人)

(現 状) 社会動態(転入-転出)は、30年は転出超過となったが、近年の傾向としては転出超過は縮小

(K P I) 30年度目標水準到達 10/16項目(達成率63%)

(成果等) ・一乗谷朝倉氏遺跡の観光入込客数は、北陸新幹線金沢開業効果により27年度に108万人に達したが、以後は減少が続いている。
 ・ハピリンの開業などにより、まちなか誘客関連の各種指標は最終年度の目標水準を上回るなど、交流人口の拡大につながっている。



福井駅西口の様子



足羽山公園遊園地「ハピジャン」

- ・ UI ターン就職支援では、大都市圏での就業機会が拡大していることや、特に学生向け事業では参加年度と就職年度が異なるためすぐに成果が表れないことなどから、現時点では目標水準を下回っている。
- ・ 社会動態の更なる改善には、今後、県外への人口流出を抑制することが重要となる。



「未来につなぐ ふくい 魅える化プロジェクト」
都市部の若手人材と市内パートナー企業による事業創造などの取組を通じて、本市の魅力発信と都市部からの新しい人の流れを創出



「UIターン就職推進事業」
学生を対象としたUIターンサマーキャンプ(企業訪問や経営者等との座談会など)や、社会人を対象とした週末就活(企業訪問や生活環境の視察等)などを参加者のニーズに応じて実施

<参考3>本市の転入・転出の状況(福井市統計書) ※外国人含む。国外移動分含む。

年次	自然動態			社会動態			E+F	F(C)-(D) 5年平均
	出生(A)	死亡(B)	E(A)-(B)	転入(C)	転出(D)	F(C)-(D)		
21年	2,483	2,496	△ 13	6,748	7,468	△ 720	△ 733	
22年	2,472	2,547	△ 75	6,453	6,808	△ 355	△ 430	
23年	2,393	2,660	△ 267	7,432	7,530	△ 98	△ 365	
24年	2,420	2,614	△ 194	7,266	7,458	△ 192	△ 386	
25年	2,323	2,793	△ 470	7,349	7,495	△ 146	△ 616	△ 302
26年	2,251	2,723	△ 472	7,126	7,338	※△ 212	△ 684	
27年	2,342	2,754	△ 412	7,273	7,728	△ 455	△ 867	
28年	2,217	2,929	△ 712	7,434	7,524	△ 90	△ 802	
29年	2,237	2,902	△ 665	7,729	7,647	82	△ 583	
30年	2,158	2,987	△ 829	7,863	8,016	△ 153	△ 982	△ 166

※基準値

<参考4>県内・県外別の社会動態の状況(住民基本台帳移動報告)

年次	社会動態(転入-転出)	
	対県内	対県外
26年	501	△ 720
27年	433	△ 775
28年	327	△ 474
29年	307	△ 391

※日本人移動、国内移動分

<参考5> K P I の進捗状況（基本目標2）

番号	KPI(重要業績評価指標)	H26	H27	H28	H29	H30	⇒ H31	(単位)	0%	20%	40%	60%	80%	100%
14	一乗谷観光客入込数	69	108	90	80	72	⇒ 110	万人						
15	まちなか観光客入込数	104	129	157	153	186	⇒ 140	万人						
16	ハピリン来場者数	0	-	56	53	51	⇒ 40	万人						
17	Wi-Fi利用者数	0	3677	14816	19825	18594	⇒ 7300	人/月						
18	ふくい鮮いちば来場者数(5年間累計)	0	21.9	44.2	65.4	86.4	⇒ 100	万人						
19	観光案内所の案内件数	38400	42300	50306	53536	53540	⇒ 50000	件						
20	福井市を訪れて良かったと感じた人の割合(アンケート調査)	85	85	89	92	93	⇒ 95	%						
21	外国人宿泊者数(市調査)	5200	10500	8400	15800	22800	⇒ 16000	人						
22	市または県機構への、移住等に係る相談者数(5年間累計)	0	4559	10275	17033	23791	⇒ 30000	人						
23	本市への移住者数	151	142	274	355	334	⇒ 200	人						
24	学生向け事業参加者の市内企業への就職者数(5年間累計)	0	0	3	33	69	⇒ 120	人						
25	社会人向け事業利用者の市内企業への就職者数(5年間累計)	0	3	13	32	59	⇒ 180	人						
26	全小中学校での職場体験の実施	73	73	73	73	73	⇒ 73	校						
27	「福井市民の誇りガイド」の発行	0	0	未発行	発行	発行	⇒ 発行							
28	全国・ブロック大会開催等支援数	3	3	5	5	1	⇒ 5	大会						
29	福井国体・障害者スポーツ大会への県外からの参加者数(大会中の累計)	0	-	-	-	47500	⇒ 50000	人						

※バーは H30 実績値/R1 目標値

【基本目標3】福井の優れた環境で、結婚、出産、子育ての希望をかなえる

(数値目標) 合計特殊出生率 全国トップクラスの維持

(H20～24 合計特殊出生率 1.65)

(現 状) 全国トップクラスを維持

(H20～24 は県庁所在地で全国 1 位。H25～29 は統計発表待ち)

(K P I) 30 年度目標水準到達 7/12 項目 (達成率 58%)

- (成果等)
- ・待機児童ゼロ、放課後児童クラブの完全受入など、主要な子育て環境の指標は維持している。今後は、楽しんで子育てを行うことのできる環境整備などソフト面の更なる充実が期待される。
 - ・婚活支援、女性の活躍推進などの分野についても、K P I は 30 年度の達成水準を上回っている。



「ふくっこ(妊娠・子育て)支援事業」

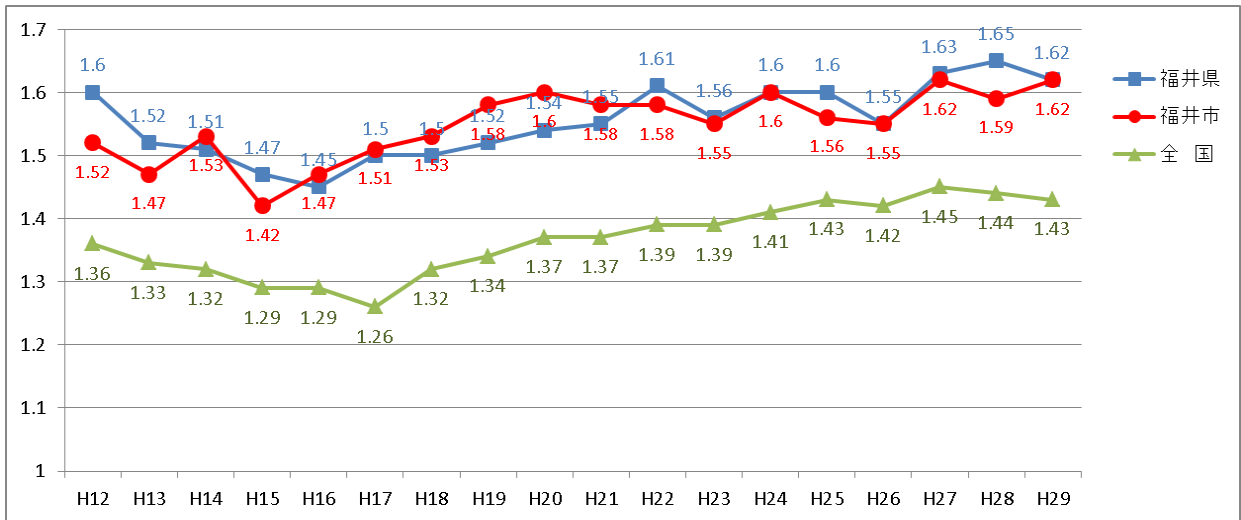
健康管理センターに妊娠・子育てサポートセンター「ふくっこ」を開設し、妊娠期から子育て期の切れ目のない支援を充実



「輝く女性の未来予想図事業」

あらゆる分野での女性の活躍と、仕事と生活の調和を推進するため、女性や男性、企業への意識啓発等を実施

<参考6>合計特殊出生率の状況（本市調査）



<参考7>K P I の進捗状況（基本目標3）

番号	KPI(重要業績評価指標)	H26	H27	H28	H29	H30	⇒	H31	(単位)	0%	20%	40%	60%	80%	100%
30	婚活イベントによるカップルの成立数(5年間累計)	0	19	46	75	106	⇒	100	組	[Progress bar]					
31	子育て環境・支援に対する満足度(アンケート調査)	80.3	-	-	85.6	78.6	⇒	90	%	[Progress bar]					
32	待機児童ゼロの維持	0	0	0	0	0	⇒	0	人	[Progress bar]					
33	放課後児童クラブ入会希望者の完全受入	100	100	100	100	100	⇒	100	%	[Progress bar]					
34	地域子育て支援拠点施設数	11	12	12	12	12	⇒	13	か所	[Progress bar]					
35	子育てを楽しんでいると感じる人の割合(アンケート調査)	67.5	-	-	71.7	65.1	⇒	80	%	[Progress bar]					
36	藤田良雄賞応募者数	0	-	-	-	-	⇒	100	人	[Progress bar]					
37	セーレンプラネット入館者数	0	-	126350	95126	107047	⇒	100000	人	[Progress bar]					
38	女性向け就職セミナー受講者のうち就職者数(5年間累計)	0	2	11	27	41	⇒	40	人	[Progress bar]					
39	交流イベント等において講演等を行う福井の輝く女性の数(5年間累計)	0	16	60	74	84	⇒	30	人	[Progress bar]					
40	ワーク・ライフ・バランス事業による支援企業数(5年間累計)	0	5	27	62	116	⇒	100	社	[Progress bar]					
41	若者のキャリア形成支援による正規雇用者数(5年間累計)	0	71	116	205	287	⇒	500	人	[Progress bar]					

※バーはH30実績値/R1目標値

【基本目標4】 県都として中心的役割を担うとともに、時代に合った住みやすいまちを創造する

(数値目標) 福井市に住み続けたいと思う市民の割合 90% (市民意識調査)

(現 状) 90%にわずかに及ばないが高水準を維持

(H27) 88% (H28) 89.4% (H29) 88.5% (H30) 87.1%

(K P I) 30年度目標水準到達 7/10項目 (達成率70%)

(成果等) ・中核市への移行、連携中枢都市圏の形成など、県都としてのまちづくりは新たなステージに入っている。

- ・良好な都市景観づくり、公共交通機関の利用促進、里地里山等支援事業や地域おこし協力隊による中山間地域の活性化などについては最終年度の目標値を達成している。
- ・今後、都市の更なる魅力向上と機能強化を図るとともに、周辺市町との連携を強化して圏域全体の発展を牽引する役割が求められる。



嶺北11市町による
ふくい嶺北連携中枢都市圏 連携協約締結式
(平成31年4月1日)



「中央公園再整備事業」
福井城址との一体性を高め、歴史が感じられるとともに、緑が多く開放的な公園として再整備が完了



「鉄道維持・活性化支援事業」
えちぜん鉄道、福井鉄道の経営安定化や活性化を支援

「バス交通維持・活性化支援事業」
地方バス路線の運行維持や、交通空白地域における交通サービスの確保に向けた地域コミュニティバスの運行を支援

<参考8> K P I の進捗状況 (基本目標4)

番号	KPI(重要業績評価指標)	H26	H27	H28	H29	H30	⇒ H31	(単位)	0%	20%	40%	60%	80%	100%
42	連携中枢都市圏の形成	-	-	-	-	協約締結	⇒ 協約締結							
43	優良建築物等整備件数(5年間累計)	0	0	0	0	1	⇒ 2	件						
44	景観づくり整備箇所数(5年間累計)	0	2	2	4	5	⇒ 5	か所						
45	まちなか居住支援件数(5年間累計)	0	14	21	32	45	⇒ 60	件						
46	高齢者向け住宅新規整備数のうち、まちなか地区での整備割合(5年間)	0	0	28.6	28.6	17.4	⇒ 30	%						
47	公共交通機関利用者数	821	840	859	870	873	⇒ 833	万人						
48	立地適正化計画の策定	-	-	-	-	策定	⇒ 策定							
49	里地・里山・里海活性化事業による支援集落数又は地区数	0	0	4	7	10	⇒ 5	か所						
50	地域おこし協力隊の人数(5年間累計)	0	2	3	4	5	⇒ 5	人						
51	ボランティア活動相談件数(5年間累計)	0	30	384	825	1286	⇒ 1500	人						

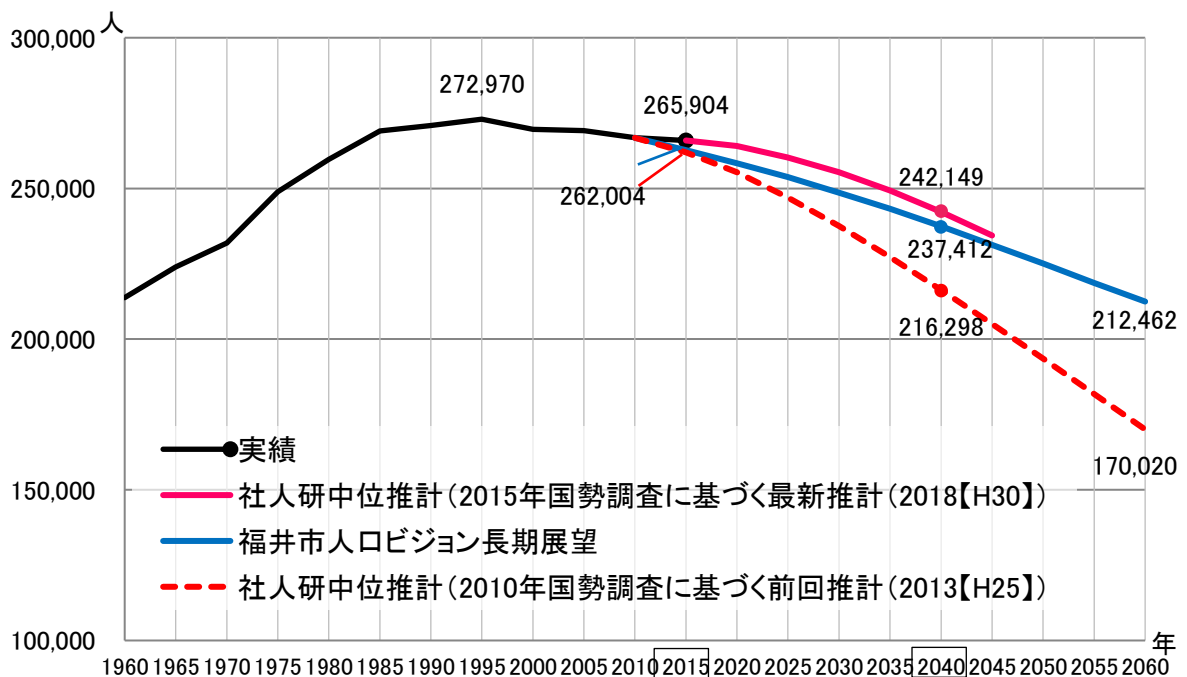
※バーはH30実績値/R1目標値

(2) 本市人口の長期展望

【人口ビジョンの長期展望シナリオ】

- (自然動態) 合計特殊出生率 2025年1.8程度、2035年2.07程度
- (社会動態) 2020年を目途に転入転出を均衡
- (現 状)
 - ・各種施策展開により人口減少の進行度合いは緩和
(2040年時点の推計人口は、人口ビジョンの237,412人を上回る242,149人の見通し)
 - ・合計特殊出生率は高水準を維持しているものの上昇していないため、現状のままでは人口減少に歯止めがかからない見通し

<参考9>本市の将来人口推計 (国立社会保障・人口問題研究所推計)



(3) 第1期総合戦略の取組等を踏まえた課題整理 ※主なもの

課題

- ①将来の人口規模維持の条件となる合計特殊出生率向上に向けた施策推進
- ②進学や就職による若者、女性の県外流出の防止と地元定着促進
- ③地域経済や雇用を支える商工業、農林水産業、観光業の体力強化
- ④新幹線開業対策と開業後のまちづくり
- ⑤地域課題(空き家対策、事業承継、働き方改革など)への対応
- ⑥外国人、多文化共生、地域コミュニティ、SDGsなどへの対応
- ⑦県や連携中枢都市圏市町との連携強化